

第3節 犯罪や虐待による被害の状況

児童虐待の状況

【児童家庭課】

児童虐待については、全国で深刻な事例が頻発しており、社会全体で早急に取り組むべき課題となっています。令和3年度に児童相談所が対応した児童虐待に関する相談件数は1,018件でした。

児童虐待相談の状況

① 虐待の内容別相談対応件数

虐待の内容では、心理的虐待が最も多く622件(61.1%)、身体的虐待289件(28.4%)、ネグレクト92件(8.9%)、性的虐待15件(1.5%)の順となっています。

第20表 虐待の内容別相談対応件数

	総数	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト
相談件数 (R3年度)	1,018	289 (28.4%)	15 (1.5%)	622 (61.1%)	92 (8.9%)

資料出所：児童家庭課（福祉行政報告例第49）

② 主たる虐待者

主たる虐待者では、実父492件(48.3%)と最も多く、実母が414件(40.7%)、実父以外の父51件(5.0%)、実母以外の母3件(0.3%)、その他58件(5.7%)となっています。

第21表 主たる虐待者

	総数	父		母		その他
		実父	実父以外	実母	実母以外	
相談件数	1,018	492 (48.3%)	51 (5.0%)	414 (40.7%)	3 (0.3%)	58 (5.7%)

資料出所：児童家庭課（福祉行政報告例第49）

③ 被虐待児の年齢構成

被虐待児の年齢構成では、小学生356件(35.0%)と最も多く、3歳～学齢前児童が260件(25.5%)、0～3歳未満187件(18.4%)、中学生141件(13.9%)、高校生・その他74件(7.3%)の順となっています。

第22表 被虐待児童の年齢構成

	総数	0～3歳 未満	3歳～ 学齢前児童	小学生	中学生	高校生・ その他
相談件数	1,018	187 (18.4%)	260 (25.5%)	356 (35.0%)	141 (13.9%)	74 (7.3%)

資料出所：児童家庭課（福祉行政報告例第49）